血糖測定システム

メディセーフ フィット®

ステップ1 準備する

必要な物を用意する

あらかじめ流水で手を洗い、清潔な状態にしてから、測定をはじめてください。

冬場など「寒い部屋に保管したチップと血糖計」を「暖かい部屋へ持って行って測定する」場合は、チップと血糖計を20分以上測定する場所へ置いて温度になじませてから測定して下さい。温度変化により測定値に影響が出ることがあります。

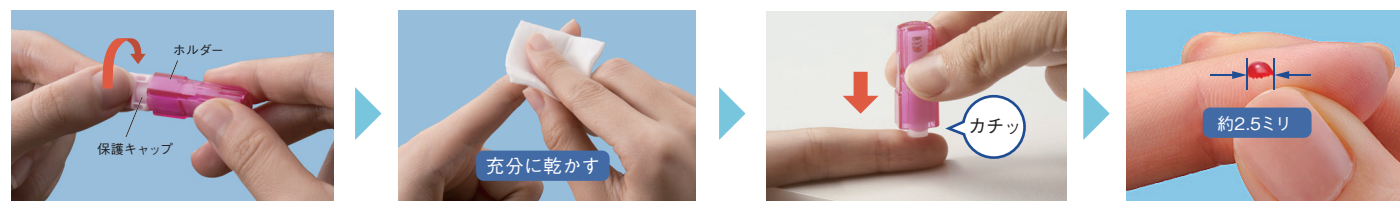
※メディセーフファインタッチディスポは、感染に配慮し1回だけの「使いきり仕様」となっています。

ステップ2 測定用チップをつける

①電源を入れ、②保護キャップをはずす。
（イジェクターを前に押し出して保護キャップをはずす）

測定用チップのフィルムシールをすべてはがし、測定用チップを血糖計の先に押し込む。
まっすぐにチップケースを引き抜く。

「ピピッ」と鳴って、「OK」と表示されます。
※「周囲の温度が、低い」が出た場合は測定器の温度が低いことが想定されるので、温度になじむまで20分以上待つ。

ステップ3 穿刺する

ホルダーをしっかり保持し、保護キャップをねじ切り、引っ張って取り外してください。取り外した保護キャップはすぐに廃棄してください。

測定する指（穿刺する指）をアルコール綿などで消毒する。

針の先端部分を採血部位に押し当てて、「カチッ」という音がするまで針を押し付けてください。

指先を軽く押して血液を出す。
血液が約2.5ミリの球状になるまで

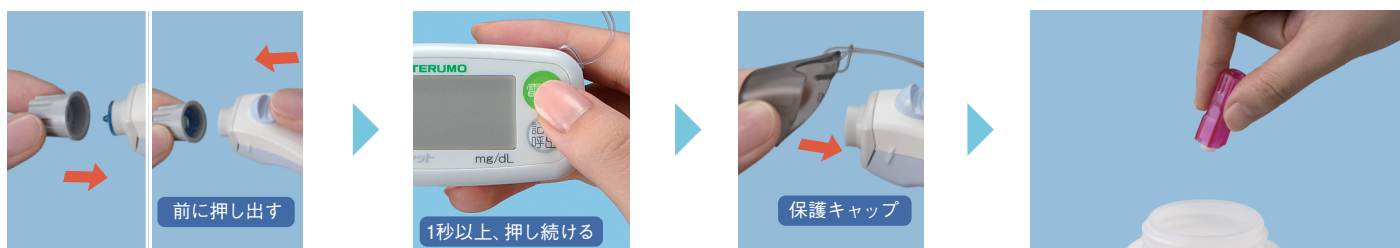
※血液がうまく出ない場合は、メディセーフフィット「とらのまきの『穿刺する』」もご参照ください。
※メディセーフファインタッチディスポには、針の長さに2種類あります。裏面をご参照ください。

ステップ4 測定する

「OK」の表示を確かめる。

測定用チップの先端を血液に軽くつける。
「ピー」と鳴るまで先端をつけておく。音が鳴ったら血液からすみやかに離し血糖計を静かに置く。

「ピー」と音が鳴って測定値が表示される。

ステップ5 かたづける

前に押し出す

空のチップケースをかぶせ、イジェクターを前に押し出してチップをはずす。

1秒以上、押し続ける

電源を切る。

保護キャップ

血糖計に保護キャップをかぶせる。

使用後は測定用チップと針をそのまま廃棄専用容器に入れ、安全に廃棄してください。

※使用済みの測定用チップと針は、医療関係者の指示に従って廃棄ください。

こんなとき、どうしたらいいの？

血糖値を正確に測定するためのポイントを説明します。初めてお使いの方は、取扱説明書（とらのまき）を必ずお読みください。

⚠注意　必ずお守りください　● 測定した結果について疑問を感じたときは、必ず医師に相談してください。● 糖尿病の治療管理は、必ず医師の指導のもとに行ってください。とくに、経口薬、インスリンの量や回数は、本人や家族、介護者の判断で変えないでください。

Q 「E01 測定できません」表示が出ている

測定できません　E01
・ﾁｯﾌﾟを正しく装着
・測定窓を拭く

A ・測定用チップが斜めに入っている。
血液を吸引する前の場合、奥までしっかり測定用チップを押し込んでください。

・測定用チップの押し込みが浅い。
測定用チップのフィルムシールをすべてはがし、奥までしっかりチップを押し込んでください。

A 使用済みの測定用チップがついている。
新しい測定用チップに交換して測定しなおしてください。

A 血糖計の測定窓に汚れ、ホコリがついている。
綿棒などで測定窓を拭いて、再度新しい測定用チップを装着してください。

Q 「E08 周囲の温度が高い」「E09 周囲の温度が低い」表示が出ている

周囲の温度が高い　E08
5-40℃の場所でｴﾗｰが出なくなるまで待つ

周囲の温度が低い　E09
5-40℃の場所でｴﾗｰが出なくなるまで待つ

A 適温（5～40℃）以外の場所で測定しようとした。
携帯ケースから取り出し、適温の場所に移動後20分ほど置いて、表示が消えてから測定しなおしてください。

Q 「E10 値が600より高い」「E12 値が20より低い」表示が出ている

値が600より高い　E10
すぐに再測定

値が20より低い　E12
すぐに再測定

A 新しい測定用チップと交換して、測定しなおしてください。それでも同じ表示がでるときは、医師に相談してください。

Q 「E03 測定エラー」表示が出ている

測定エラー　E03
血液量を確認/ﾁｯﾌﾟ開封後すぐに再測定

A ・測定用チップに吸引させた血液量が少ない。
・測定用チップに充分量の血液を吸引させる前に、本体に振動が加わり測定が開始された。
・測定中にイジェクターを押してしまい、チップが浮いてしまった。
・血液を2度付けした。
新しい測定用チップと交換し、適量（約2.5ミリの球状）の血液を吸引させて再測定してください。

A 血液に水分や消毒用アルコールなどが混じった。
測定する指を充分に乾かしたのち、新しい測定用チップと交換して測定し直してください。
測定対象が血液以外（水等）であった。
測定対象が血液である（血液以外の物質が混入していない）ことを確認してください。

A 開封して時間が経っている測定用チップを使用した。
新しい測定用チップを開封し、直ちに使用して測定してください。

A 使用期限の過ぎた測定用チップで測定した。
使用期限内のチップと交換し、再測定してください。

A ヘマトクリット値が60%を超える血液や20%を下回る血液では測定値が表示されない場合があります。
上記A の項目を確認のうえ新しい測定用チップと交換して測定し直してください。その上で下記「E04 測定エラー」が表示がされる場合は病院もしくはテルモ・コールセンターにお問い合わせください。

Q 「E04 測定エラー」表示が出ている

測定エラー　E04
取扱説明書の表示ごとの対処方法を参照

A 2回続けて測定エラーとなった。
「E03 測定エラー」に記載されている対処方法を再確認したうえで、病院もしくはテルモ・コールセンターにお問い合わせください。

Q 測りかたで血糖値が変わることがありますか

A 次のような場合には、正しい測定ができない、あるいはエラーが表示されることがあります。

測定用チップの先端を離すタイミングが早い、または遅い
1.「ピー」と鳴る前に測定用チップ先端を血液から離すと、正しく測定できないことがあります。 2.「ピー」と鳴った後、測定用チップ先端を血液に長く当て続けると、正しく測定できないことがあります。

吸引しても測定がはじまらず、血液を付け足した
吸引中、測定用チップを血液から離し、再度血液を吸引すると、その途中で空気が測定用チップの中に入り正しく測定できないことがあります。新しい測定用チップと交換して、血液を適量（約2.5ミリの球状）出し、1回で吸引して測定ください。

血液を出してから時間がたった
血液は、空気に触れるとすぐに凝固しはじめます。凝固が進んだ血液は、正しく測定できないことがあります。できるだけ早く吸引してください。また、測定しなおすときは、血液をふき取り、最初からやりなおしてください。

血液がなかなか出ず、無理やり押し出した
無理やり押し出すと、組織液の混入により、正しく測定できないことがあります。このようなときは、取扱説明書（とらのまき）の『穿刺する』を参照してください。

測定用チップのフィルムシールをはがしてから、時間がたった
測定用チップのフィルムシールをはがしてから時間がたつと、測定用チップ内の試験紙が湿気をおびて、測定値が低くなることがあります。
フィルムシールをはがしたら、すぐに血糖計へ装着して測定をはじめてください。

消耗品一覧

販売名	長さ	包装単位	製品コード
●測定用チップ			
メディセーフフィットチップ		30個	MS-FC030
		25個	MS-FC025
●穿刺（せんし）器具一体型穿刺針			
メディセーフ ファインタッチディスポ	0.8mm（ピンク）	30本	MS-FD08030
	1.5mm（ブルー）	30本	MS-FD15030

※メディセーフフィット血糖測定スタートセットに同梱されているのは「0.8mm（ピンク）」です。

販売名：メディセーフフィット　医療機器承認番号：22100BZX00858　特定保守管理医療機器
販売名：メディセーフフィットチップ　体外診断用医薬品
販売名：メディセーフファインタッチディスポ　認証番号：225AFBZX00086000

テルモ・コールセンター
糖尿病関連商品専用ダイヤル
0120-76-8150
（24時間365日 受付）

製造販売業者：テルモ株式会社　〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1

テルモ社内管理コード　*MS69J000*